サプライヤーガイドライン

私たちは、企業理念の「心にゆたかさをもたらすコーヒー文化を築いていこう」を
実践していくためには、サプライヤーの皆様のご協力が不可欠と考えています。

この度、「人権方針」及び「責任ある購買・調達方針」に基づき、サプライヤーガイ
ドラインを制定致しました。

サプライヤーの皆様にはキーコーヒーのビジネスパートナーとして本内容へのご
賛同と遵守のご協力をお願い申し上げます。

<遵守をお願いする項目>

サプライヤーの皆様には、次の項目について遵守に努めていただくよう、お願い致
します。

1. 人権の尊重・労働者の安全と健康の確保

(1) 人権に対する基本姿勢

国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、自らが人権侵害に加担
(助長) しません。

(2) 人権の尊重と差別の禁止

人権を尊重し、人種、民族、国籍、宗教、信条、出身地、性別、性的指向、
性自認、年齢、障がい等に基づく差別をすることなく、自社の意思決定や事業
活動を行います。

(3) 人権侵害の加担(助長)の回避

自社の意思決定、事業活動、ならびに商品・サービスが、消費者や地域社会
の人々の人権侵害の加担(助長)に繋がることのないよう十分に配慮します。

(4) 地域社会または先住民の生活・文化の尊重ならびに配慮

先住民や少数民族が居住する地域で事業を行う企業として、固有の文化や歴
史を尊重し、現地の法令だけでなく国際基準を守り先住民の権利に配慮します。
また、これら先住民や少数民族に関する問題に限らず、影響を受ける地域社会
に配慮して責任ある事業運営を行います。

(5) 労働慣行に対する基本姿勢

国際規範等で示される労働原則を認識し、普遍的な価値観として、職場の基
本的原則に適用します。

(6) 雇用における差別の禁止

採用時において、人種、国籍、性別、性的指向、年齢、家系、宗教、民族、
移民、障がいの有無等、本人の能力・適性等の合理的要素以外の要素で差別を
しません。

- (7) 人材育成やキャリアアップ等に関する従業員への平等な機会提供
昇進や研修受講等の機会を、人種、国籍、性別、性的指向、年齢、家系、宗教、民族、移民、障がいの有無、配偶者の有無、健康状態等を理由に公平性が損なわれることなく平等に提供します。
- (8) 非人道的な扱いの禁止
従業員の人権を尊重し、虐待、体罰、ハラスメント（嫌がらせ）等の非人道的な扱いを禁止します。
- (9) 適正な賃金の支払い
操業する国や地域の法定最低賃金を遵守し、時間外労働等に関する適切な労働協約を締結し、割増賃金、支払方法等を公正に適用します。
- (10) 労働時間、休暇・有給休暇等の公正な適用
法定または、予め合意された労働時間を遵守します。従業員の労働時間を適切に管理し、有給休暇取得の権利を与えます。1週間に最低1日の休日を与えます。
- (11) 強制労働の禁止
本人の意思に反する就労、離職の自由が制限される労働を行わせません。不当な拘束手段を用いた労働強要、時間外労働の強制等を行いません。また、身分証明書等の不当預かりや、預託金の不当徴収は行いません。
- (12) 児童労働の禁止
その国・地域における法廷就労年齢未満の児童を雇用しません。また児童の健康、安全、道徳を損なうような就労をさせません。
- (13) 操業する国や地域の宗教的な伝統や慣習の尊重
操業する国や地域の伝統や慣習、及び従業員の宗教的な伝統や慣習を尊重し、一律の就労規則等によりそれを妨げることのないよう配慮します。
- (14) 結社の自由と団体交渉の権利の認識と尊重
従業員が報復・脅迫・嫌がらせを受けることなく結社する自由、労働組合に加入する自由、抗議行動を行う自由を尊重し、労使の対話機会を設けます。
- (15) 従業員の安全衛生、健康についての適切な管理
就業中に発生する事故や、人体に有害な化学物質、騒音、悪臭等の発生リスクを把握し、適切な安全対策等を講じます（法定点検、保護措置、危険表示、化学物質取扱管理、危険作業への対策、保護具の指定等への対応も含む）。また、従業員のメンタルヘルスにも配慮した対策を講じます。

2. 環境への配慮

- (1) 環境への取り組みに対する基本姿勢
事業プロセスにおいて、環境課題を認識し、解決を行う仕組みづくりを推進します。また、環境に影響を与える原因や要因を特定し、管理します。

- (2) 製造工程、商品及びサービスにおける、法令等で指定された化学物質の管理
商品中の化学物質を管理することはもとより、化学物質の取扱量の把握、行政への報告等を行います。
- (3) 排水・汚泥・排気の管理及び発生削減
法令に定められた水準、もしくはそれ以上の自主的な環境負荷削減目標を定め、公害の発生を予防し、排水・汚泥・排気等の監視・制御を実施し、流出量の削減に取り組みます。
- (4) 資源（エネルギー、水、原材料等）の持続可能で効率的な利用
省資源・省エネルギーを実行するための自主目標を設定し、継続的な資源・エネルギーの有効活用を図ります。
- (5) GHG（温室効果ガス）の排出量削減
気候変動や、地球温暖化防止への対応として、二酸化炭素、メタン、フロン類等の温室効果ガスについて、自主的な削減目標を設定し、削減に取り組みます。
- (6) 廃棄物の特定、管理、削減、及び責任ある廃棄またはリサイクル
廃棄物について、自主的な削減目標を設定し、削減に取り組みます。
- (7) 生物多様性に関する取り組み
事業活動が生態系に与える直接・間接的影響について検討を行い、生物多様性の保全と持続可能な利用に取り組みます。

3. 公正な企業活動

- (1) 公正な企業活動に対する基本姿勢
商品・サービスを生み出す事業プロセスにおいて、公正な活動（汚職防止、責任ある政治的関与、公正な競争、反社会的勢力・団体との関係排除等）を行います。
- (2) 事業活動を行う国内外の現地行政や公務員との適切な関係の構築
腐敗防止のため公務員への接遇管理を行う等、企業と公務員との間の健全な関係を維持します。
- (3) 営業または購買活動等における、顧客や取引先等との不適切な利益の授受の防止
顧客との間で、健全な関係を維持します。
- (4) 営業活動等における、競争法違反の防止
談合やカルテル、優越的地位の乱用等、不公正な取引を行うことを防止します。
- (5) 反社会的勢力・団体との関係排除
暴力団や総会屋等との関係を排除します。
- (6) 第三者の知的財産の無断使用や著作物の違法複製防止
特許権、著作権、商標権等の知的財産権を尊重します。

(7) 社外からの苦情や相談窓口

自社との取引に関して重要なリスク情報を知った取引先関係者あるいは消費者が、専用部署もしくは社外窓口に直接報告・相談する体制があります。その際秘密が厳守され、不利益な取り扱いを一切受けることがないようにします。

(8) インサイダー取引の禁止

上場会社の関係者等が、未公表の会社情報を利用して当該企業の株式等を売買することを防止します。

(9) 利益相反行為の禁止

社員の利益と企業の利益が対立する状況において、企業の利益を損ね、個人的利益を享受することを禁止します。

<コミュニケーションとモニタリング>

本サプライヤーガイドラインの内容につきましては、サプライヤーの皆様の事業所や社員の皆様に周知及び遵守のご協力をお願い致します。

サプライヤーの皆様の取組状況を把握するため、SAQ（自己チェックシート）への回答や監査を依頼させていただく場合がございます。また、必要に応じて改善依頼・支援、その後のフォローアップをさせていただく場合もございます。

2023年03月27日制定
キーコーヒー株式会社
代表取締役社長

紫田 裕